

横浜市公立大学法人評価委員会の中間評価の考え方と進め方

1 基本的事項

中間評価は、第2期中期目標期間（23～28年度の6年間）の中間点における法人による自己点検・自己評価等をもとに、評価委員会が専門的、総合的な視点により実施するものです。

この評価委員会による中間評価結果については、28年度までの法人による中期目標の達成に資するとともに、29年度を開始年度とする次期中期目標（中期計画）の策定に向けた検討材料の一つとすることを目指します。

（1）中間評価制度の評価委員会におけるねらい

中間評価は、中期目標期間の中間点（25年度末時点）において、法人が自己点検・自己評価を行い、第三者委員会である評価委員会が評価を行うことで、法人の自主・自立性、効率性、透明性を高め、中期目標の達成に向けて、法人が解決すべき課題等に対応できるようにするものです。

また、地方独立行政法人法によれば、市長が中期目標を定めるには市会の議決を経なければならず、法人が中期計画を作成する場合は市長の認可を受けなければならないことになっています。つまり、市長が29年度を開始年度とする次期中期目標を策定するには、28年度中に市会の議決を経しておく必要があります。

一方で、中期目標期間における法人業務の実績については、事後的に評価を行うことになっており、地方独立行政法人法のスケジュールでは中期目標（中期計画）についての評価結果を次期中期目標（次期中期計画）に関する検討に反映させることができません。

そこで、第1期中期計画においては、中間時点において中間評価を実施しましたが、第2期中期計画においても、上記の趣旨をふまえ実施します。

（2）中間評価制度の法人におけるねらい

中間評価にあたり、法人は、中期計画の目的・趣旨を再確認し、自己点検・自己評

価を行なうものとしします。

この自己点検・自己評価をもとに、第三者委員会である評価委員会が評価を行うことで、法人は、中期計画の達成に向けて解決すべき課題や中期計画の策定当初には想定していなかった状況へ対応できるようにするものです。このため、法人は、

ア 中期計画の策定当初の目的・趣旨を再確認します。

イ 自己点検・自己評価を行うことにより、中期計画の達成に向けて、現時点での課題を明らかにします。

ウ 明らかになった課題について、解決するための方策を立て、28年度までに計画を達成します。

(3) 法人における自己点検・自己評価の視点

各年度の年度評価とは異なり、中間評価にあたっては、法人は、中期目標期間の中間点における中期計画に対する進捗状況という視点から自己点検・自己評価を行ない、これに基づき、「公立大学法人横浜市立大学の中期目標期間の中間点における業務の実績報告書」を作成します。

(4) 法人における自己点検・自己評価の基準

自己評価	基準
A	中期計画で設定した最終年度の水準を上回って達成できる見込みである。
B	中期計画で設定した最終年度の水準を達成できる見込みである。
C	中期計画を実施したが達成できない見込みである。
D	中期計画を実施していない。

2 評価委員会における中間評価の進め方について

評価委員会は、法人から提出を受けた中間点における実績報告書や各年度の業務の実績報告書、業務の実績報告に対する指摘事項に対しての改善状況等に基づき、法人の意見を聴取しつつ、専門的な観点から総合的に評価を行います。

(1) スケジュール

平成 26 年 5 月 13 日 第 55 回法人評価委員会において「中間評価の考え方と今後の進め方（案）」の確認

平成 26 年 6 月上旬	法人へ自己点検・自己評価に基づく実績報告書作成の依頼
平成 26 年 6 月～8 月	法人による自己点検・自己評価作業
平成 26 年 9 月	法人から評価委員会に実績報告書提出
平成 26 年 10 月～11 月	実績報告書等に関して、法人の意見を聴取 実績報告書等に基づき、専門的な観点から総合的な評価を行い、中間評価を実施・取りまとめ

(2) 評価委員会の評価の視点

評価委員会では、第 2 期中期目標・中期計画策定時に想定した以下のような視点を参考として中間評価を行います。

【視点】

- ア 理事長、学長のリーダーシップの下で、ガバナンス及びコンプライアンスの強化など運営の改善に取り組んでいるか。
- イ 学生満足度の向上に向けて、学生の視点に立って教育の質の充実や大学運営に取り組んでいるか。
- ウ 研究者の創意に基づく自主的研究とともに、学長のリーダーシップによる大学としての組織的・重点的な研究推進への取り組みが進んでいるか。
- エ 安全で質の高い医療の提供に努めているか。
- オ 研究成果や知的財産の還元、市民医療の向上、生涯学習の場の提供など、地域貢献に積極的に取り組んでいるか。
- カ 国際化の推進と国際社会への貢献に積極的に取り組んでいるか。
- キ 本市の抱える課題の解決へ向けて、研究や政策提言・策定等に積極的に貢献しているか。
- ク 評価委員会による各年度の業務の実績報告に対する指摘事項を踏まえ、どのように改善してきたか。また、その他の評価についても、改善に反映させているか。
- ケ 中期計画の策定当初には想定していなかった事項に対して、新たな視点を持って取り組んでいるか。